

会員名： 林木育種センター九州育種場

九州における特定母樹の申請・普及について**○特定母樹の指定状況**

令和6年9月末現在で九州管内の特定母樹は、スギエリートツリー18系統、第一世代精英樹の少花粉スギ品種7系統、低花粉スギ品種2系統、第一世代精英樹12系統、サガンスギ4系統、ヒノキエリートツリー10系統の計53系統となっています。

今中長期計画期間中はヒノキの特定母樹の申請に取り組むとともに、引き続きスギエリートツリーの開発を進め、育種集団林（第3世代）の設定を行うこととしています。

○特定母樹の原種配布状況

スギ特定母樹の原種配布は平成26年度から開始し、令和5年度末現在で累計24,943本を九州各県及び認定特定増殖事業者からの要望に応じ配布しています。

また、ヒノキ特定母樹については、平成30年度から令和4年度までに130本、令和5年度に85本の原種配布を行いました。

○特定母樹の原種配布後の九州育種場の取組

県や認定特定増殖事業者を対象に、会議等において育種情報の提供を行うとともに、採種穂園の造成・改良、優良種苗のコンテナ苗生産など林木育種技術に関する技術指導を実施しています。

現地または育種場での技術指導を希望される場合には、九州育種場ホームページの「視察・見学、講習の受入れについて」からご依頼下さい。

○認定特定増殖事業者の状況

九州管内の「認定特定増殖事業者」は、令和5年度に4者の方が認定を受け、令和5年度末現在で、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県内の企業、樹苗組合、森林組合及び個人の計36者となっています。

また、今後も新規参入者が予定されています。

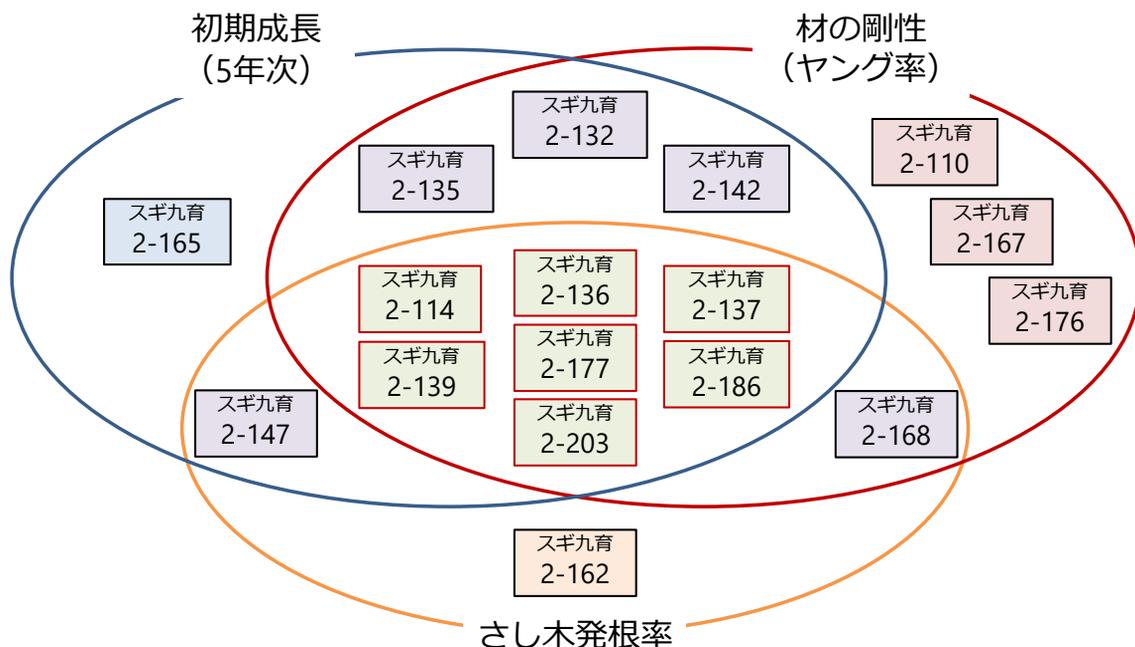
○エリートツリー特性表（九州育種基本区・スギ）を作成・公表

平成6年3月にスギのエリートツリー特性表を作成して九州育種場ホームページで公表しています（九州育種場ホーム > 研究紹介 > 研究成果 > 特性表 <https://www.ffpri.affrc.go.jp/kyuiku/research/tokusei/index.html>）。造林用に特に推奨したい、特定母樹（第一世代精英樹を含む）については、成長特性、材の強度、発根率、花粉症対策の特徴が一目でわかるように類別化した図で示しています。

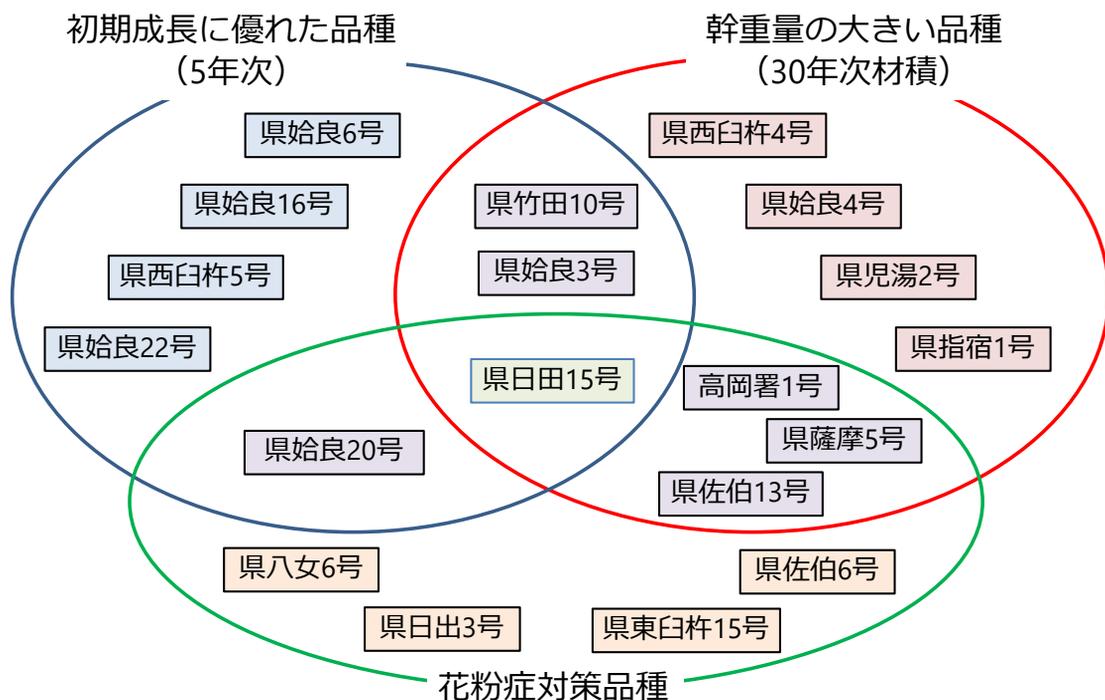
（添付資料あり）

V スギ特定母樹の特性に基づく類別化

1. エリートツリー由来



2. 第1世代精英樹由来



※集合に含まれる系統はその特性が優れることを意味します。